

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社  
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。風薫新緑の季節、皆様におかれましてはお変わりございませんか。新元号が発表され5月からは「令和」と決まりました。

「万葉集」第5巻「初春の令月にして、気淑く（きよく）風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、欄は珮後（はいご）の香を薫らす」から引用されたとの事。人々が美しく心を寄せ合う中で新しい文化、新しい時代を切り開いていくという思いが込められているそうです。未来の人達に平和の継承を願うばかりです。寒暖の差が大きい季節柄、寒暖の差が大きい季節柄、なおいっそうご自愛下さい。

## サンライズの物語

### “自分らしい”最期のために—— 決意を新たにす物語



その方は夫が亡くなってから独りで生活をされていた方でした。慢性呼吸器不全に罹患しており在宅酸素を利用し夜間は「シーパップ」を装着していた方でしたが、人の世話にはなりたくないと何時も自分でできる事は何でもされておりました。

関わる人達に感謝の言葉を言い続け、「いい人よ」が口癖でした。そんな中状態が悪化し入院を余儀なくされたのでした。

入院中面会に行くと言葉も聞こえない程体力が低下していました。担当の看護師からも危篤な状態ですよと告げられたのです。

そんな時担当看護師より「井上に会いたい」との連絡があり面会に行くと「自宅へ戻りたい」と・・・  
「戻りましょう。皆が待ってますよ」言うのが精一杯、涙が零れてきたのです。

誰もが自宅へ戻り自分らしい生活を夢みているのに、医療処置が高い人達は現実には戻れないのが事実です。地域ケアネットワークの構築が叫ばれている中、どんな人でも安心して自宅へ戻れるような体制を作らねばならないと感じております。

誰が作るのか・・・それは私達です。小さな力を寄せ集め大きな力に変えていかなければならないと思う強い意思です。足りない社会資源があれば、抱き起こすのだと心に誓うこの頃です。

## サンライズのデイサービス陽光だより



【ドライバー】  
近藤 守秀

デイサービス陽光の送迎ドライバーの  
近藤 守秀です、よろしくお願いいたします。

介護施設での勤務は初めてになりますが前職でも車の運転を毎日しておりました。  
皆さまを安全、安心に送迎して参ります。  
安全運転で頑張っております。

【入社10/11】 【血液型A型】



井上から  
エール!

安全運転で毎回運転してくれます。

## 介護に役立つ書籍紹介

### 親の介護、10年め日記。

著：堀田あきお、堀田かよ

「家族」って結局なんなんだ!?

歩けなくなり認知症が進む母。非協力的で自分勝手な父。

在宅介護の限界を感じ、施設への入所を試みるも、簡単にはいかず…!?

現代社会の介護事情と「家族のあり方」をリアルに描き、「古い」と「人生」を見つめるコミックエッセイ!!



## NEWS 今月のニュース

### 健康・介護の課題で協力

#### 関東経産局と厚生局

関東経済産業局と関東信越厚生局は17日、健康や介護分野の課題解決で協力する覚書を結んだ。両局の担当者が自治体などを訪問して地域の介護事業者などが抱える課題を掘り起こし、解決策を提供できる企業と引き合わせる。民間の力を活用して健康長寿や介護サービスの質の向上を目指すと同時に、ベンチャー企業などの技術革新を後押しする。

東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、  
栃木、群馬、山梨、長野、静岡、

新潟の1都10県が対象。高齢者が住み慣れた地域で医療・介護サービスを受ける「地域包括ケアシステム」の構築に積極的な自治体を中心に、5月から「キャラバン隊」として共同で訪問を始める。

地域が抱える課題を整理し、2019年秋をめどに自治体や介護事業者と民間企業を集めたマッチングイベントを都内で共催する。健康、介護分野で優れた技術やアイデアを持つベンチャー企業などに現場の需要を知ってもらい、ビジネス機会の創出につなげる。

高齢化の進展で健康や介護などの

分野は人材不足が深刻化しており、生産性や効率性を高める新たな技術やサービスに期待が高まっている。関東経産局の角野然生局長は「イノベーションの主な担い手であるベンチャー企業は信用力に課題がある。自治体や介護事業者と連携を広げることは意義深い」と話す。



<日本経済新聞  
2019年4月17日(水)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>